

第102期 中間報告書

2020年1月1日 ▶ 2020年6月30日

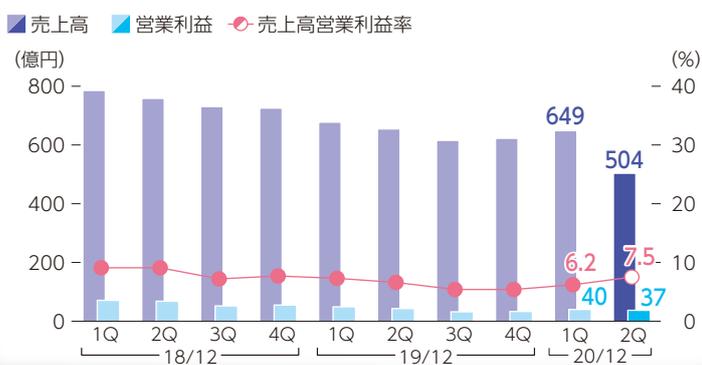
GLASS FOR FUTURE



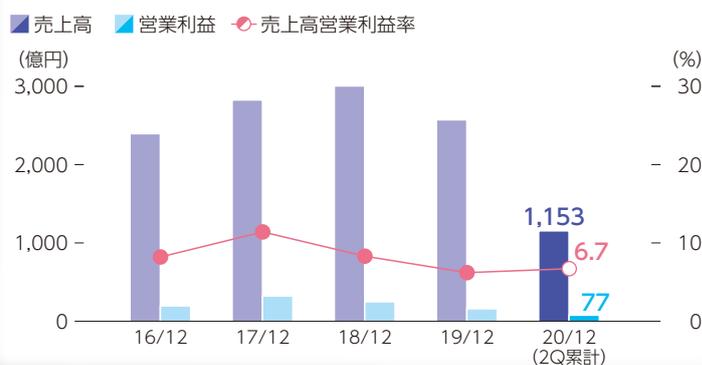
連結財務ハイライト

(Q:四半期)

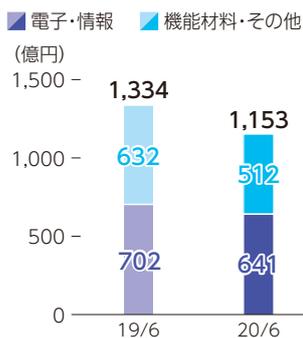
四半期 売上高・営業利益・売上高営業利益率



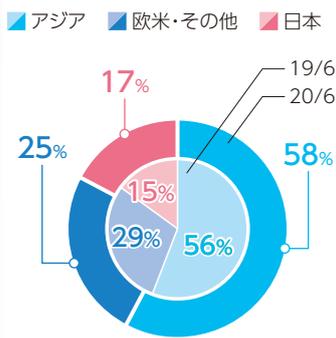
売上高・営業利益・売上高営業利益率



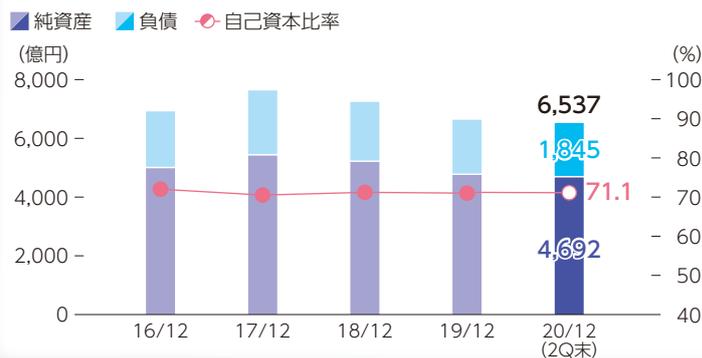
部門別売上高 (2Q累計)



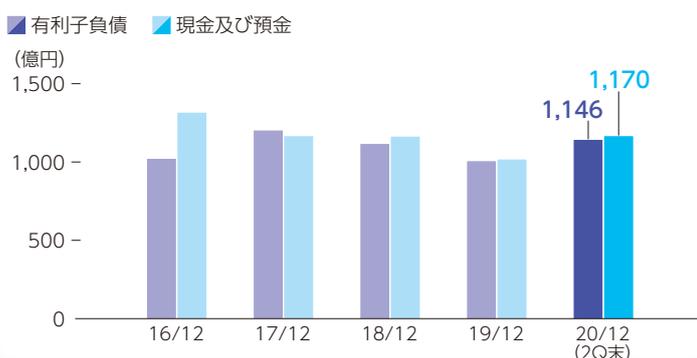
地域別売上比率 (2Q累計)



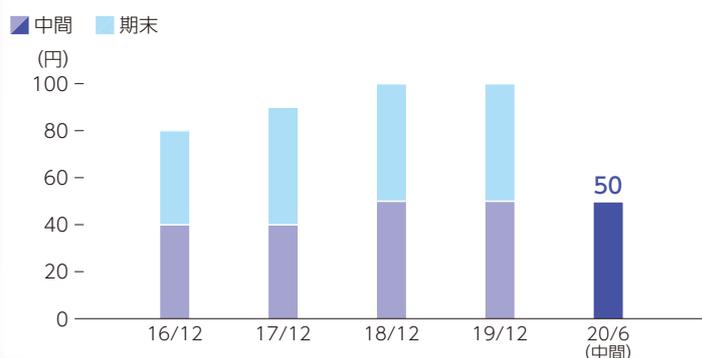
純資産・負債・自己資本比率



有利子負債・現金及び預金



1株当たり配当額の推移



※各期を比較しやすいよう株式会社による影響を遡及して調整の上記載

中長期の成長を見据えた取り組みは、
スピードを落とすことなく
推進してまいります。

社長 松本 元春



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けられた皆さま、ならびに令和2年7月豪雨により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

今年度上期(2020年1月1日～6月30日)においては、新型コロナウイルス感染症の拡大の中、当社グループでは、従業員をはじめとして当社事業に関わる方々の健康を第一に感染症拡大防止の取り組みを行いつつ事業活動を継続してきました。一方、世界経済は米中通商問題の深刻化に加えて感染症の影響を受け、かつてない落ち込みとなりました。当社においても多くの製品で需要が減少し、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

主力の薄型パネルディスプレイ(FPD)用ガラスは、得意先の減産の影響を受け出荷が停滞し、ガラスファイバは、自動車部品向け高機能樹脂用途の需要が急速に悪化し出荷が大きく減少しました。一方で、5Gなどの通信インフラ関連製品や医薬用管ガラスの出荷は堅調でした。

損益面では、売上高の減少やガラスファイバの稼働率の低下などにより営業利益および経常利益は前年同期を下回りましたが、原燃料費の減少に加え、生産性の改善や費用削減、工事の見直しなどを進めてきたことから、概ね当初の計画を達成することができました。純利益は、特別修繕引当金の取り崩しなどにより前年同期を上回りました。

さて、感染症は依然として収束の目途が立っておらず、世界経済は先行き不透明な状況が長期にわたって続くものと予想しています。こうした中ではありますが、FPD用ガラスの出荷は、底堅い需要を背景に回復しつつあります。中国でのシェア拡大に取り組むとともに、革新的な製造プロセスの水平展開を進め、収益の向上を図ってまいります。ガラスファイバは本格的な回復にはまだ時間を要するものと思いますので、生産性の改善とコストの削減に努めつつ、事業体質の抜本的な強化に取り組んでまいります。光・電子デバイス用ガラスについては、通信インフラ関連製品が堅調に推移するものと予想しており、新規開発品の事業化を推進してまいります。医薬用管ガラスについては、マレーシアにおける生産能力の増強を今年中に実行し、旺盛な需要に対応していきます。

感染症の影響により経済活動が制約を受ける中、今後の市場環境を見通すことは難しい状況ですが、当社といたしましては、中長期の成長を見据えて基盤技術の開発に注力し、新たな設備投資や新製品の開発・事業化についてはスピードを落とすことなく進めてまいります。

なお、株主の皆さまへの利益還元につきましては、中間配当を1株当たり50円(前年中間期と同額)とさせていただきます。期末配当は1株当たり50円(前年期末と同額)とし、年間配当を1株当たり100円とする予定です。株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

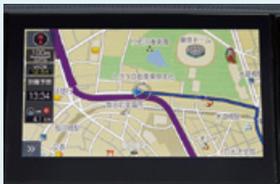
Research and Development

研究開発

1月
発表

Dinorex®がTOYOTA 新型最上級ミニバンの 車載ディスプレイに採用

当社の車載ディスプレイ用カバーガラスが、1月6日に発売されたTOYOTA社の新型アルファードおよびヴェルファイアに採用されました。本製品は、化学強化専用ガラスDinorex®に、化学強化処理および加飾印刷、光学薄膜処理を施したもので、車載ディスプレイの表面保護カバーとして使用されています。ガラスのもつ独特な質感は、高級感のあるラグジュアリーな雰囲気のインテリアにも調和しています。



Dinorex®が
採用された
ナビゲーション
ディスプレイ

(写真提供:トヨタ自動車株式会社)

2月
発表

ガラスビーズで透光性の ある3Dプリンター造形 品を実現

3Dプリンターは、型を用いることなくデジタルデータから複雑な3次元形状を作り出せます。特に光造形方式は、自動車部品、電気・電子部品の試作、宝飾や医療など多くの分野で利用されています。当社は光学ガラスの材料設計、ビーズ作製技術を駆使し、3Dプリンターに用いる樹脂と屈折率を整合させた微小ガラスビーズを開発しました。このガラスビーズを用いることで耐熱性と強度に加え、透光性をもった3D造形品を世界で初めて実現しました。



ガラスビーズを用いた仮歯

6月
発表

Scientific Reportsに 全固体二次電池の論文 が掲載

6月11日公開の英国Nature Research社が発行する科学誌「Scientific Reports」(オンライン)に、結晶化ガラスを用いた全固体ナトリウム(Na)イオン二次電池に関する研究成果の論文が掲載されました。今回の研究成果は、本電池が実用レベルの性能を得られることを実証するもので、当社の研究開発力を全世界にアピールすることができました。

▶ 詳細はこちらから

<https://www.nature.com/articles/s41598-020-66410-1>

Exhibition

国際医用画像総合展 (ITEM) 2020

5月15日(金) ~ 6月5日(金) インターネット展示会

最新の医用画像診断機器を一堂に公開する総合展示会「ITEM 2020」に出展しました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でインターネットでの開催となった中、放射線遮蔽用ガラスを映像で紹介しました。先端医療の現場で働く医療従事者を放射線被ばくから守るのはもちろん、メンテナンス性に優れていることから、期間中に多くのアクセスがありました。



Integrated Report

「統合レポート2019」を発行

4月24日に「統合レポート2019」を発行しました。中期経営計画「EGP2021」をはじめとした当社の成長戦略を明示しつつ、ESG(環境・社会・ガバナンス)などの非財務情報についてもさらなる充実をはかりました。ぜひご覧ください。



▶ 詳細はこちらから

<https://www.neg.co.jp/ir/archive/annual/>



Glass in Stories

企業広告 「ガラス人ストーリーズ」を展開

5月から日本経済新聞を中心に企業広告「ガラス人ストーリーズ」を展開しています。喜び・感動・挑戦・苦悩など当社社員ひとりひとりの物語に焦点を当て、全4回にかけて紹介。当社ホームページでもご覧いただけます。



▶ 詳細はこちらから

<https://www.neg.co.jp/glass-jin/>



会社概要 (2020年6月30日現在)

会社概要

創 立 1949年12月1日
商 号 日本電気硝子株式会社
本 社 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号
TEL 077(537)1700(代表)
FAX 077(534)4967
資 本 金 32,155百万円
従 業 員 数 6,539名(連結)
営 業 所 大阪・東京
事 業 場 大津・滋賀高月・能登川・
精密ガラス加工センター
主要事業内容 特殊ガラス製品の製造・販売
連結子会社 国内11社・海外15社
ホームページアドレス <https://www.neg.co.jp/>

取締役および監査役／執行役員

取締役会長 (代表取締役)	有 岡 雅 行	社長執行役員	松 本 元 春
社 長 (代表取締役)	松 本 元 春	専務執行役員	竹 内 宏 和
取 締 役	竹 内 宏 和 佐 伯 彰 幸 津 田 幸 博 山 森 裏 出 伊 藤 博 之	常務執行役員	佐 伯 彰 幸 田 崎 本 憲 山 岸 村 憲 中 松 宮 晴 加 埜 智 典
常勤監査役	應 治 雅 彦 林 嘉 久	執行役員	野 村 博 明 久 保 正 也 角 見 昌 昭 森 井 拓 守 高 堀 内 男 堀 小 林 宏 金 谷 仁 中 島 利 幸 織 田 英 孝
監 査 役	松 井 克 浩 高 橋 司		

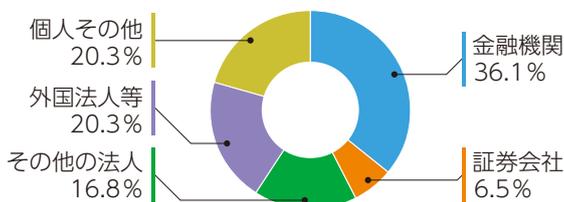
※1 社外取締役
※2 社外監査役

株式の状況 (2020年6月30日現在)

株式に関する事項

発行可能株式総数 240,000,000株
発行済株式の総数 99,523,246株
単元株式数 100株
株主数 21,878名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ニプロ株式会社	12,388	12.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,016	10.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,937	7.2
SMBC日興証券株式会社	2,244	2.3
JPモルガン証券株式会社	1,821	1.9
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,784	1.8
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,737	1.8
株式会社滋賀銀行	1,617	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,527	1.6
JP MORGAN CHASE BANK 385781	1,405	1.5

※1 当社は、自己株式を2,881,673株保有していますが、上記大株主からは除外しています。
※2 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会・期末配当
毎年12月31日
中間配当
毎年6月30日
上場証券取引所 東京(市場第一部)
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(T168-0063)
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
公告の方法 電子公告(<https://www.neg.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない
場合は、日本経済新聞に掲載します。

●株式に関するお問い合わせ先

内容	お問い合わせ先
支払期間経過後の配当金について 特別口座に関する事項(※1) (特別口座から一般口座への振替請求等)	三井住友信託銀行(株) ☎0120-782-031
氏名・住所等の変更 配当金の受領方法(振込先等)の指定 単元未満株式の買取・買増請求(※2)	口座を開設されている証券会社等 * 口座を開設されていない方は 上記三井住友信託銀行(株)

※1 特別口座のまま売買等を行うことはできず、一般口座への振替えが必要です。
※2 当社での買取りまたは1単元(100株)に不足する数の株式を当社から買増することができます。
なお、当社での手続きに係る費用は無料です。

